

【図表1】 水力発電の導入見込量

	進行中又は経済性のある案件の 開発が進んだ場合(A)	既存発電所の設備更新による出力増 加、未利用落差の活用拡大等が進ん だ場合(B)	自然公園法や地元調整等自然・社会 環境上の障害があるが解決可能とさ れる地点の開発等が進んだ場合(C)
大規模 (追加分)	19万kW (工事中等導入確実案件の開 発)	35万kW(19+16) (Aに加え、既存地点の設備更新によ る出力向上等)	90万kW(35+55) (Bに加え、障害があるが解決可能とさ れる地点の開発等)
中小規模 (追加分)	16万kW (開発難易度が低く経済性も高 い未開発有望地点の開発)	42万kW(16+27) (Aに加え、未利用落差の活用、既存 地点の設備更新による出力向上等)	206万kW(42+164) (Bに加え、障害があるが解決可能とさ れる地点の開発等)
既導入量	4,745万kW(809億kWh)	4,745万kW(809億kWh)	4,745万kW(809億kWh)
合計	4,780万kW(825億kWh)	4,822万kW(845億kWh)	5,041万kW(953億kWh)

出所：資源エネルギー庁資料